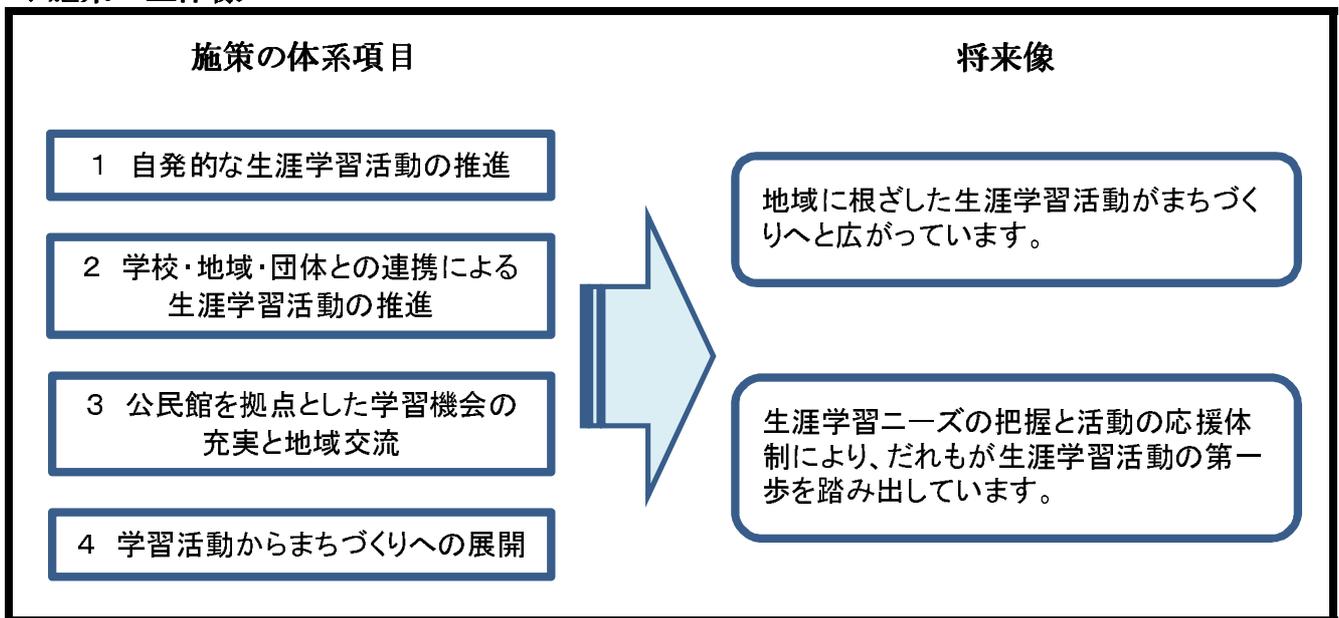


施策評価シート (平成29年度評価実施)	担当 部課名	教育委員会 生涯学習課	関連 部課名	
--------------------------------	-------------------------	----------------	-------------------------	--

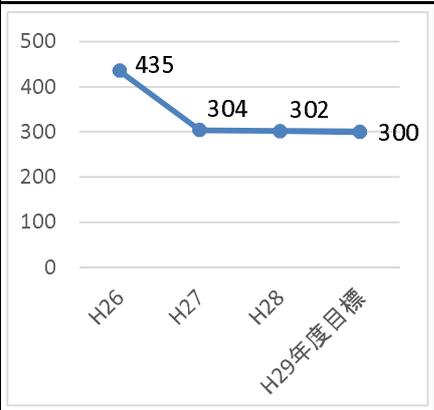
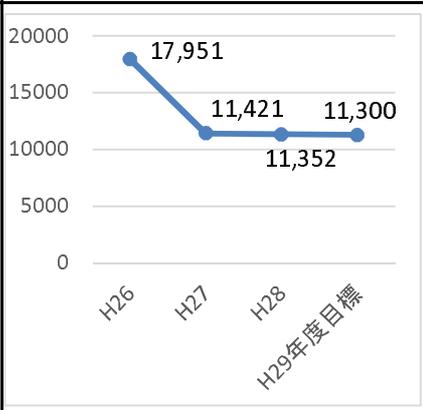
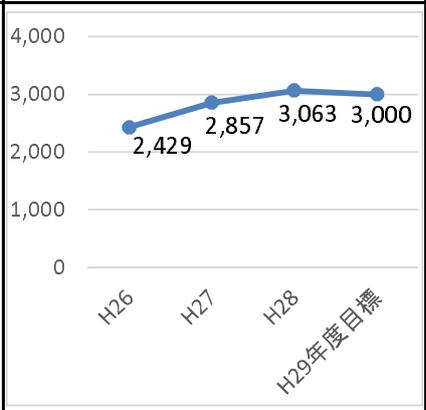
◆第四次蒲郡市総合計画(2011～2020)

施策名	生涯学習
基本目標	こころ豊かに夢をはぐくむまちづくり【教育・文化】
施策の説明	誰もが気軽に生涯学習活動を楽しみ、地域を担う人づくりを進めるために、生涯学習ニーズの把握や活動の応援体制の強化、活動拠点及び学習機会の充実、学校や地域・各種団体との連携を通じた特色ある生涯学習活動などの取組を推進します。

◆施策の全体像



◆施策の体系項目に係る具体化した取組み実績(括弧内は単位)

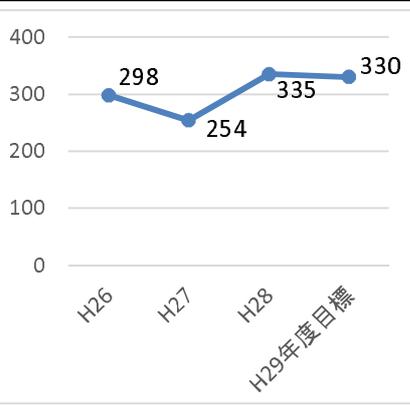
施策の体系項目	自発的な生涯学習活動の推進																															
生涯学習講座(人)	出前講座(人)	文化振興事業(人)																														
 <table border="1"> <caption>生涯学習講座(人)</caption> <tr><th>年度</th><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29年度目標</td></tr> <tr><th>人数</th><td>435</td><td>304</td><td>302</td><td>300</td></tr> </table>	年度	H26	H27	H28	H29年度目標	人数	435	304	302	300	 <table border="1"> <caption>出前講座(人)</caption> <tr><th>年度</th><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29年度目標</td></tr> <tr><th>人数</th><td>17,951</td><td>11,421</td><td>11,352</td><td>11,300</td></tr> </table>	年度	H26	H27	H28	H29年度目標	人数	17,951	11,421	11,352	11,300	 <table border="1"> <caption>文化振興事業(人)</caption> <tr><th>年度</th><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29年度目標</td></tr> <tr><th>人数</th><td>2,429</td><td>2,857</td><td>3,063</td><td>3,000</td></tr> </table>	年度	H26	H27	H28	H29年度目標	人数	2,429	2,857	3,063	3,000
年度	H26	H27	H28	H29年度目標																												
人数	435	304	302	300																												
年度	H26	H27	H28	H29年度目標																												
人数	17,951	11,421	11,352	11,300																												
年度	H26	H27	H28	H29年度目標																												
人数	2,429	2,857	3,063	3,000																												
担当者評価																																
<p>・生涯学習講座…幅広い世代のニーズに対応した講座開催を模索しているところであり、対象を絞った講座については受講者が多く満足度も高いようである。傾向としては趣味的要素の強いものが好まれている。ニーズの見極めが重要であるが、今後は若い世代や勤め人が参加したくなる内容や参加できる時間帯等を考慮して、幅広い分野の講座開催を考える必要がある。</p> <p>・出前講座…受講者数は横ばいであるが、評判は概ね良い。今後も内容等について各課と調整する等、充実を図りながら市民の生涯学習活動の一助となるようにしていく。</p> <p>・文化振興事業…文化協会と市共催の市民文化祭は参加人数が年々増加している。中学生による芸能ステージ発表や、小中学校音楽祭を実施しており、次代を担う子どもたちに文化の伝承等、連携した活動ができている。</p>																																

1

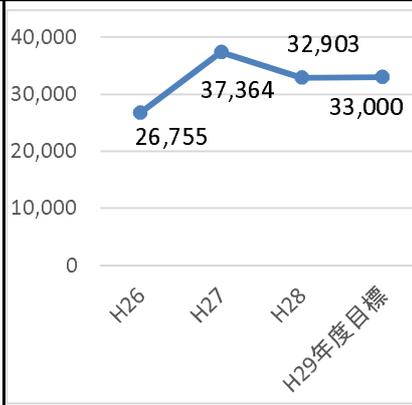
施策の体系項目

学校・地域・団体との連携による生涯学習活動の推進

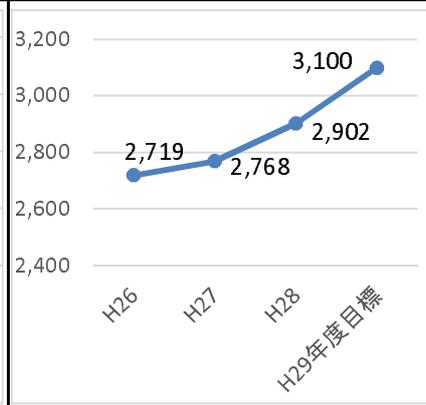
学校開放講座(人)



生命の海科学館(人)



各種団体との連携(人)



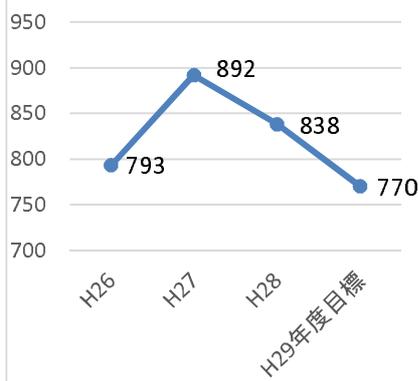
担当者評価

- ・**学校開放講座**…現在4小中学校で講座を開催しており、毎回定員を超える程好評である。地域住民団体の学校施設利用もあり、生涯学習活動を実践する地域施設としてさらに利用が増えるよう周知する必要がある。
- ・**生命の海科学館**…人的コストと会場の制限を鑑み、学校等団体来館への対応と、連携による講座等の回数を調整しつつ、幅広い世代を対象に、理科を学び科学に親しんでもらうための教育普及を進めている。
- ・**各種団体との連携**…大学やボランティア等の協力により充実した活動を実施している。今後も引き続き協力者を確保し、諸団体等との連携による活動展開など、人・諸団体とのつながりを大切にしながら、魅力ある活動を開催していく。

施策の体系項目

公民館を拠点とした学習機会の充実と地域交流

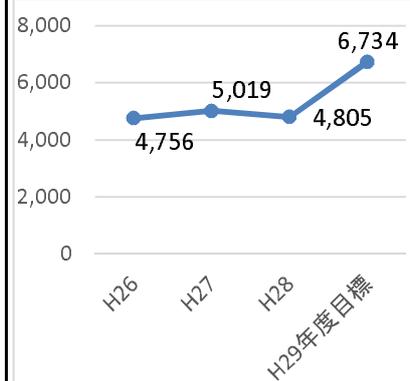
公民館生涯学習講座(人)



公民館・地域との連携事業(人)



成人学級(人)



3

担当者評価

・**公民館生涯学習講座**…各公民館で地域の要望を取り入れた講座を開催しており好評であるが、参加者が固定化傾向にある。特定された人、グループ(主に高齢者)のための施設というイメージがあり、若い世代が利用しにくい状況であり、依然改善するのは難しい。

・**公民館・地域との連携事業**…各公民館と地域で公民館まつり、体育祭、子ども向け体験型教室を開催しており、地域全体での交流事業を展開している。特に体育祭や子ども向け教室等は、幅広い世代が参加し、地域との結びつきが非常に強いという良い面を持つ一方で、社会教育施設として生涯学習事業を展開するにあたっては、マンパワー不足や施設の老朽化等の課題が残る。

・**成人学級**…家庭教育学級、女性学級、高齢者学級を開催しているが、高齢者学級開催が大半を占めている。今後はニーズを考慮しながら、家庭教育学級や女性学級も充実していく。

◆施策の現状分析(指標の推移から見た現状分析)

指標の推移		指標の説明(設定理由)										
1	<p>生涯学習活動の推進(人)</p> <table border="1"> <caption>生涯学習活動の推進(人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>435</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>304</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>302</td> </tr> <tr> <td>H32年度目標</td> <td>350</td> </tr> </tbody> </table>	年度	人数	H26	435	H27	304	H28	302	H32年度目標	350	<p>生涯学習活動に関して、世代・性別のニーズ(講座内容、時間、手法)を把握し、さらなる学習機会の創出及び参加率の上昇を図ることを目指す。</p> <p>また、市民アンケートによると、生涯学習活動をしていない理由の上位が「時間がない」「何をすればいいのかわからない」「情報不足」という結果から、学習情報を市民に広く周知するために関係機関との連携強化やネットワーク化等、多種多様な学習情報を多様な手法で提供する必要があると思われる。</p>
	年度	人数										
H26	435											
H27	304											
H28	302											
H32年度目標	350											
指標の分析	<p>ニーズが多様化すぎて、受講者数の確保及び満足度を高めるのが難しい。需要度の高い講座は問題ないが、需要度の低い講座は開催することが困難なほど受講者が少数(あるいは0人)のケースがあり、講座内容が偏りがちである。</p>											
指標の推移		指標の説明(設定理由)										
2	<p>公民館・地域との連携事業(人)</p> <table border="1"> <caption>公民館・地域との連携事業(人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>25,814</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>26,235</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>27,351</td> </tr> <tr> <td>H32年度目標</td> <td>28,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	人数	H26	25,814	H27	26,235	H28	27,351	H32年度目標	28,000	<p>公民館は地域に根差した生涯学習活動及び地域との交流を推進するにあたって重要な役割を担っている。現在は主に高齢者のサークル活動や会合等に利用されている。地域の交流施設として、老若男女問わず利用しやすいように、会館の事業内容や運営等について、地域住民のニーズを把握し、考慮していく必要がある。</p>
	年度	人数										
H26	25,814											
H27	26,235											
H28	27,351											
H32年度目標	28,000											
指標の分析	<p>地域との強い結びつきがあり、地域との連携事業は充実しているが、社会教育施設として生涯学習事業を実施、展開していくという点においては、人手不足や施設の老朽化等により、かなり難しいのが現状である。</p>											

◆市民等からの参考意見等

市民サービス向上に向けた意見等

●「蒲郡市生涯学習推進計画(改訂版)に伴う生涯学習に関する市民アンケート調査」より(抜粋)

・「現在、生涯学習活動をしていない」と回答した人の理由

上位から「時間がない」(全体55.7%)、「何をすればいいのかわからない」(同16.6%)、「生涯学習に関する情報不足」(同10.6%)

特に30代、40代、50代は半数以上が「時間がない」と回答している。

・「今後、どのような内容の学習をしたいか」

上位から「趣味・教養・実技に関するもの(全体58.7%)」、「スポーツ・レクリエーションに関するもの」(同29.1%)、「職業・資格取得に関するもの」(同27.5%)

特に20代・30代は3割強が「職業・資格取得に関するもの」を希望している。

●「生命の海科学館 アンケート調査 及び 来館者調査レポート」より(抜粋)

・子どもを対象とした教育活動においては、小学校低学年が40%、次いで高学年が37%。参加者の満足度は総じて高い(94%)。人気の講座は早々に定員となってしまうため、定員もしくは回数を増やしてほしいという声が多く聞かれる。

・講演会等一般向け教育活動においては、『60代以上』の参加者数に比して『40～50代』が2倍以上と多いこと(他館の例:～1.7倍程度)と、リピート率が59%と高い(他館の例:～37%)のが特徴。野外での実践活動の増加を望む意見あり。

・展示室入場者においては、高校生以下の子どもを含む家族・グループでの来館が最も多く(72%、うち子どもの88%が小学生以下)、大人だけでの来館が20%。来館目的は『展示』36%、『レジャー・観光』32%、『イベント』16%と続く。展示に関連した教育活動を望む意見あり。

●「公民館生涯学習講座」開催時のアンケート調査より(抜粋)

・「子ども向け歴史講座」…歴史が好きな子が多く、学校の授業と連動して楽しめる講座を他にも開催してほしいという意見あり。

・毎年、(同じ講座を)楽しみにしている、という意見あり。

・親子向け講座…夏休みに開催しているが、冬休みにも開催希望あり。親子で参加できて楽しいという意見あり。

◆今後の方針

No.	課題		今後の取組み
	件名	内容	
1	生涯学習講座の開催	生涯学習活動の推進を図り、参加者数の増加及び満足度を高くするために、多様かつ潜在的な学習ニーズを把握する。また、活動に参加していない人に興味関心を持ってもらえるように学習情報の効果的な周知方法を考える必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な学習ニーズに対応するためにアンケート調査などを実施し、内容や開催方法を検討する。 ・生涯学習活動への自発的な参加を促すために様々な手法で学習情報を提供し、広報周知をする。
2	生命の海科学館における教育活動の充実	幅広い年齢層の多様なニーズに応え、理科への入口となるイベントと、最先端の科学への学びを深める教育普及活動の両立を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・減少傾向にある小学校高学年の来館促進につながる、理科を楽しむことのできるイベントの増加 ・より専門的な講座や連続的に学べる講座、大学等研究機関との連携による最先端の科学に関する教育普及活動を展開 ・新属新種認定を受けたインカクジラの関連講座を開催し、進行する科学研究への理解を促進
3	各種団体との連携による生涯学習活動	ボランティアの人材確保及び質の良いボランティアの育成、スキルアップを図る必要がある。	生涯学習活動を推進していく上で必要な人材確保に伴い、養成講座の開催等、ボランティアの育成を図っていく。
4	公民館講座の開催	利用者はほとんど中高年以上の方である。若い世代や子ども等、幅広い世代が公民館に馴染みを持ち、参加してもらえるような講座開催が望まれる。	あらゆる年代の地域住民の生涯学習活動ができるように講座内容の充実や施設利用の方法等を見直す。地域の実情や特色をふまえて、課題解決に向けた学習に取り組んでいく。

◆施策評価

構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
課長評価	<p>生涯学習活動を推進する上では、学習機会の充実と活動場所の充実が重要である。学習機会の充実の観点から生涯学習講座に関しては、若い世代や勤め人が参加したくなる内容や参加できる時間帯等を考慮して、幅広い分野の講座開催を考える必要がある。その為には、公民館、学校、地元関係団体・大学・民間企業などとのこれまで以上に連携・協力が必要となり、ボランティアを含め講師などの充実、養成が必要である。活動場所の充実に関しては、今後、蒲郡市公共施設マネジメント実施計画の基本方針に沿った実施計画を踏まえ、個別計画を策定していく。</p> <p>また、生命の海科学館では、企画展、ワークショップ等ニーズに応じた取り組みを展開しており、新規の講座の開設及び内容の充実を図る上で、地元企業・大学・各種団体と引き続き連携をしていく必要がある。</p>

施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
部長評価	<p>生涯学習講座については、ニーズの見極めが重要であり、今後は若い世代や勤め人が参加したくなる内容や時間帯を考慮し、幅広い分野の講座開催を考える必要がある。また、学校・地域、民間企業・団体との連携は益々必要となっており、学校開放、生命の海科学館の利用推進も諸団体等との連携を図りながら進めていかなければならない。更に、公民館活動においては、特定の人、グループによる利用という傾向があり、若い人等の参加を促すためにも学校、民間企業・団体等との連携・協力が必要であり、更には質の高いリーダー及びボランティアの養成が必要となる。</p> <p>今後は平成29年4月に改定された「蒲郡市生涯学習推進計画2017」に基づき生涯学習の推進を図っていかなければならない。</p>

事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く事業費(千円)	人件費(参考)(千円)	人工	評価(担当者)	事業の種類別	新規事業	達成状況	市長マニフェスト	実施計画
5-2	生涯学習課	506	社会教育審議会等設置事業	415	2,053	0.25	B	ア	オ	A	—	×
5-2	生涯学習課	507	生涯学習講座開催事業	160	1,220	0.20	B	カ	オ	B	3	○
5-2	生涯学習課	508	生涯学習のまちづくり推進事業	160	2,298	0.40	B	カ	オ	B	3	○
5-2	生涯学習課	509	社会教育団体育成事業	962	1,578	0.20	B	オ	オ	B	—	×
5-2	生涯学習課	510	俊成の里短歌大会開催事業	510	3,885	0.65	A	オ	オ	A	—	×
5-2	生涯学習課	513	子ども会育成事業	1,200	2,783	0.50	B	オ	オ	B	—	×
5-2	生涯学習課	514	成人式実行事業	920	3,033	0.50	B	カ	オ	B	—	×
5-2	生涯学習課	516	家庭教育推進事業	3,435	4,390	1.50	B	オ	オ	B	3	×
5-2	生涯学習課	517	子ども交流事業	300	2,665	0.45	A	カ	オ	A	—	×
5-2	生涯学習課	519	公民館管理運営事業	77,927	5,405	1.25	B	カ	オ	B	3	○
5-2	生涯学習課	520	公民館施設整備事業	30,278	4,341	0.60	B	ウ	オ	B	3	○